

平成15年9月16日

連絡先

環境部化学物質対策チーム
吉田、大西(059-224-2483)

資料提供について

1 発表事項

三重ごみ固形燃料発電所(RDF貯蔵槽)事故に伴うダイオキシン類環境調査
(本調査)結果について(土壌)

2 発表要旨

RDF事故直後の周辺環境調査(本調査)のうち、土壌の結果を公表します。

土壌環境

8月22日に周辺4地点(桑名市嘉例川、桑名市大山田、東員町笹尾および多度町力尾)で行いました本調査の結果は、0.17~12 pg-TEQ/gであり、すべての地点において環境基準値(1,000 pg-TEQ/g)を下回り、異常は認められませんでした。

なお、大気・水質の本調査については、9月11日に公表済みです。

3 今後の方針

RDF事故によるばい煙などの飛散がほぼ収まった後の土壌環境等への影響を確認するため、追加で実施(9月3日・4日に検体採取)しました、土壌及び水質の本調査については、9月下旬から10月上旬にかけて結果が判明する予定です。

三重ごみ固形燃料発電所（RDF貯蔵槽）事故に伴うダイオキシン類環境調査結果（本調査）

H15.9.16

		測定場所	所在地	採取日	測定結果		環境基準
土 壤	一 般 土 壤	1	笹尾中央公園	東員町笹尾地内	8月22日 (金)	0.50	pg-TEQ/g 1,000 pg-TEQ/g 以下
		2	嘉例川	桑名市嘉例川地内		12	
		3	公民館東広場	桑名市大山田地内		0.17	
		4	多度南小学校	多度町力尾地内		0.99	

環境基準 : 長期的な影響の観点から人の健康を保護する上で維持することが望ましい基準として定められたものです。

TEQ : ダイオキシン類は、毒性の強さがそれぞれ異なっており、ダイオキシン類の仲間でも毒性が強い2, 3, 7, 8-TCDDの毒性に換算し、足し合わせた値をTEQと言う単位で表現しています。

pg (ピコグラム) : 10^{-12} g、1兆分の1グラム、東京ドームに相当する体積の入れ物に水 (10^{12} g) を満たして角砂糖 (1g) を溶かした場合に相当します。

簡易調査 : 国が定めた方法 (公定法) でないが、迅速にダイオキシン類をスクリーニングする方法。生物検定法等により約1週間で結果がでます。

本調査 : 国が定めた方法 (公定法) による調査。検体採取後で結果がでるまでに通常2ヶ月、早くても1ヶ月程度かかります。